

# 1st

## 青木繁記念

## 九州

## 高校生

## 美術公募展

久留米市は、青木繁や坂本繁二郎、高島野十郎、古賀春江など数多くの画家を輩出するとともに、豊かな芸術的土壌を育んできました。

特に、青木繁は、偉大な画家になることを夢見て、17歳でふるさと久留米から上京し、22歳で日本洋画史に残る名作《海の幸》を描き世間に大きな衝撃を与えました。今回、青木繁のように瑞々しい感性と創作への情熱を持つ高校生たちを対象に美術作品を広く募集し、次代の美術文化を担う若い才能の発掘と育成、芸術文化の継承と地域文化の振興につなげるため、「青木繁記念九州高校生美術公募展」を開催します。

応募受付期間

2026

10. 1 木

▼  
10.31 土

# 作品 公募



久留米市美術館  
(展覧会会場)

《問合せ先》

青木繁記念九州高校生美術公募展実行委員会事務局

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地 (公財)久留米文化振興会内

TEL0942-33-2271 FAX0942-39-7837 (月曜休館)

主催：青木繁記念九州高校生美術公募展実行委員会、久留米市

共催：久留米市教育委員会、公益財団法人久留米文化振興会

特別助成：公益財団法人石橋財団

後援：福岡県

協力：福岡県高等学校芸術・文化連盟 美術・工芸部門



HP <https://www.ishibashi-bunka.jp/>



音声コード

# 第1回青木繁記念九州高校生美術公募展 出品について

## 1. 出品者資格

- 九州・沖縄各県内の高校に在籍する下記年齢の個人
- 九州・沖縄各県内に在住する下記年齢の個人(教育機関への在学状況は問わない)  
※2008年4月2日～2011年4月1日生まれの15歳～18歳の方

## 2. 出品規定

出品作品は、本人が制作した作品で他の公募展に入選・入賞していない作品。  
ただし、高等学校芸術・文化連盟 美術・工芸部門(高文連)の出品作品は出品可。

### A: 平面の部(油彩、水彩、アクリル等の絵画作品、デザイン画、版画、工芸作品)

大きさ:縦120cm以内、横120cm以内

- ※ デザイン画は手描きに限り、PC出力のデジタル作品や画面内にプリント出力した紙等を貼っただけの作品、生成AIを使用した作品は不可。
- ※ 仮縁等(額幅5cm以内)を付けるか、パネル張りするか等、壁面への設置が可能なもの。
- ※ 画面保護のためのアクリル板の使用は可。ガラスは不可。イレパネ可。

### B: 立体の部(彫刻、工芸等の立体作品)

幅90cm、奥行90cm、高さ180cm以内(台座を含む)、重量30kg以内

- ※ 自立すること ※ 電源使用は不可 ※ 生成AIを使用した作品は不可

■ 出品点数 A:平面の部 B:立体の部のいずれかで、1人1点まで

■ 出品料 500円(消費税込み)

- ※ 2次審査のための作品搬入費用は、別途、出品者負担。  
ただし返却費用は主催者負担とする。

詳細は必ずWEBサイトをご確認ください。

<https://www.ishibashi-bunka.jp/>



## 3. 賞

賞名	特典
最優秀賞(久留米市長賞) 1点	国内の美術館研修(2027年3月の春季休業期間中を予定)
石橋財団賞 1点	
久留米市美術館賞 1点	
優秀賞 約5点	記念品
奨励賞 約5点	記念品

※上記以外の80点程度は、入選作品とする

※各賞受賞者及び入選者は、表彰式後に審査員による講評及び審査員・出品者間での意見交換会に参加できる

※各賞受賞者及び入選者には、賞状及び図録を贈呈する

## 4. スケジュール

応募期間	2026年10月1日(木)から10月31日(土)まで ※WEB申込のみ ホームページの専用フォームから手続きをおこなう。
1次審査	申し込み画像※1、及び、申込書類によるWEB審査
2次審査	現物審査にて、各賞の受賞作品を決定 作品受付期間…2027年1月18日(月)～1月19日(火) 1次審査の通過者は、久留米市美術館へ直接または輸送にて搬入。※2
結果通知	2027年1月下旬
表彰式	2027年1月30日(土)
展覧会	2027年1月30日(土)～2月7日(日) [展覧会会場] 久留米市美術館1階展示室 〒839-0862久留米市野中町1015 TEL0942-39-1131 FAX0942-39-3134 開館時間10:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日:月曜日(祝日の場合開館)

※1 10MB以内のjpegまたはpngのいずれかのファイル形式で、作品を正面から撮影またはスキャンした画像データ

※2 主催者では作品送付に関する輸送業者等の手配は一切おこなわないため、出品者の責任において作品の送付・搬入に必要な手配をすること

## 5. 審査

「平面の部」「立体の部」の部門毎の審査でなく、全体を通して、作品の技術力、表現のテーマ性、独創性、観るものへのインパクトなどを総合的に審査する。  
審査員…主催者が選定した九州内の美術関係者5名

## 6. その他

- 入賞・入選者の作品写真および申込用紙の記載事項は、本展の展覧会、図録や報道、広告等、広報一般に使用、掲載されることを許諾されたものとする。
- 応募の際の個人情報、主催者及び業務受託者にて、作品の管理や、連絡、通知の発送など当展覧会運営のみに使用する。